

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

野七里地域ケアプラザの担当エリアは、栄区内の他ケアプラザと比べて若い世代の人口流入が少なく高齢化が進んでいるために、地域を支える担い手の世代交代が困難である事が大きな課題となりつつあります。

反面、健康への意識は高く、地域の福祉保健活動参加者が多い地域でもあります。起伏の多い土地柄もその要因となっていると思われませんが、独居高齢者の孤立、有病高齢者世帯、孤独死、社会適応困難者、生活困窮者、精神疾患等について潜在しているケースが多いと認識されています。それらのケースの迅速な把握と支援には、地域のネットワークが欠かせない存在となっています。

多くの地域課題を抽出し、高齢者だけではなく、介護者、子育て世代、地域社会からの孤立や生活困窮等について、それぞれの関係機関や地域と情報共有を行い、担い手育成を含めた地域活動の充実が共通課題として認識される事が重要です。

#### (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

① 高齢者に関する相談については、地域包括支援センター3職種を中心に医療・介護事業所と密に連携し支援に繋がっています。また、相談内容から把握出来る生活支援ニーズを地域で解決していけるよう、生活支援コーディネーターを中心に課題共有・解決に向けて、関係機関と情報共有をしています。子育て支援事業の中で、専門家による講話や相談会を開催し、地域ケアプラザが子育て支援の拠点の場となるよう努めました。障害児余暇支援事業も近隣ケアプラザで開催し、家族同士の仲間づくりや地域への発信を行いました。

② 所長会、5職種の各連絡会等で示される区事業の方針や取り組みを積極的に把握し、区役所、社会福祉協議会、近隣地域ケアプラザ等と連携し事業展開しています。

### (3) 各事業の連携

- ①子育てに安心な環境整備や地域との交流を目的とした「こどもの居場所づくり」を、民生・児童委員を中心に、地域福祉保健計画の推進母体である上東地域見守りネットワーク、小学校、中学校、各PTA、有志の方々と活動・支援を行いました。
- ②毎月の5職種（地域包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター）とケアプラザのケアマネジャーで、個別のニーズや相談内容の分析、地域の魅力や課題について情報共有し、自治会町内会毎に情報シートを作成・整理することで、地域活動やニーズに「見える化」を実践しています。

### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ①欠員なく職員体制を維持しております。
- ②年間計画に基づき、法人内では、社会福祉法人の職員として基礎的な能力を身につける研修をケアプラザ職員全員受講しております。  
各職種向けの研修には、目的を持って積極的に参加し、研修終了後は、地域ケアプラザ職員会議等で研修内容を伝えていきます。個別支援と地域支援を一体的に行っていくために、毎月の5職種（地域包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター）会議の中で、地域ケアプラザ職員としてのあり方、方向性・業務の視点などを学び合い、価値観・判断力の確立に繋げていきます。
- ③個人情報保護、人権、倫理規定等、公共機関の職員として各種研修を受けた職員によって実施し、相互に学ぶ機会を作りました。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ①【上郷東地域見守りネットワーク】  
事務局として、事務局会議や定例会を後方支援するとともに、年2回の全体会、サロン交流会、高齢者福祉活動（日帰り視察研修）等を継続的に協働実施しました。今年度は、地区別計画も2年目となり、区方針と同様に掲げる7つの方針から、「地域の見守り」「健康づくり」「ボランティア」を重点的に実施・活動しております。全体会の中で、本方針について検討し新たな取り組みに繋がっています。  
特に、「健康づくり」については、保健活動推進委員と上郷東地域見守りネットワーク共催で免疫力アップを目的とした健康料理教室を開催しております。継続実施のニーズが高く、「健康づくり」についての分科会の立ち上げが検討されています。  
また、「次世代育成」についても民生・児童委員、主任児童委員や有志の方々を中心に、小学校や中学校、各PTA、上郷東地域見守りネットワークの共催で、子育てに安心な環境整備や地域との交流を目的とした「こどもの居場所づくり」を推進・継続しています。
- 【上郷西地区つながるプラン推進会議】  
事務局・会計として、三委員長会、役員会、見守り検討委員会、まちの活性化・交流委員会、防犯・防災委員会を後方支援しました。  
三委員会の具体的な取り組みとして、見守り検討委員会では「支えあい豊かに暮らす連絡会」を野七里地域ケアプラザで実施し、認知症に関する勉強会と各自治会単位で見守りについての地域課題の検討・共有が行われました。  
まちの活性化・交流委員会では、上郷中学校を中心とした地域連携会議を受けて立ち上がった「あいさつ運動」や、世代間交流サロン「ぬくもり」が継続開催されました。特に、「あいさつ運動」の一環で作成されたのぼり旗を地域ケアプラザでも掲げて「あいさつ運動」を積極的に推進しました。  
防犯・防災委員会では、大きな災害に備え「防災体験学習施設 そなエリア東京」での研修や楽しく学べる「防犯落語」を実施・検討しています。

- ②自治会町内会や、地域防災拠点委員会、地域福祉保健計画の運営推進母体等の定例会議への出席や、地域サロンや食事会等への参加を通して情報収集に努め、域住民との関係を構築するとともに、地域特性やニーズ、地域課題の把握に努めました。

#### (6) 区行政との協働

- ① 1回、保健師、ソーシャルワーカーとカンファレンスを行い、地域情報の共有や個別ケースの検討をしています。区とのカンファレンス時に必要に応じて、ケアマネジャーや各関係機関も含めたカンファレンスを行い、相談者にとってより良い支援が行えるよう努めました。
- ② 域住民の様々なニーズに応じていくために、区役所国民年金課と連携し、ケアマネジャー向けに年金講座と中心とした情報交換会を継続開催しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

第3期地域福祉保健計画に基づき、地域のニーズや課題に対応した講座の開催に努めました。また、事業の内容によっては他団体や他機関と協働で進める事によりケアプラザのみならず、活動内容が地域全体に広がるよう心掛けました。福祉保健活動団体の新規立ち上げの協力や活動内容の周知等積極的に取り組みました。

#### ■健康・生きがいづくりとしての事業

##### ①春のポールウォーキング

上郷地区センター・翠風荘との共催事業としてポールを使った健康維持と介護予防を目的とした講座を実施しました。地域の中でサークル化は実現しませんでした。次年度5月にポールウォーキングの周知と自主化に向けた講座を開催します。また、若い世代に向けた「ポールエクササイズ」の講座も検討しています。

##### ②パソコン教室

夏は暑中見舞い・冬は年賀状作成の講座を貸館利用団体の方を講師に行いました。利用団体の活動の場と周知、地域での活動にパソコンを活かしてもらう事を目的に実施しました。年賀状に関しては、毎年参加者が多いのですが、暑中見舞いに関しては最近の傾向として暑中見舞いを出さない方が多いためニーズは少ないと思われます。次年度は、内容を変え年2回の講座を開催します。

##### ③ナイトエアロビクス

昼間仕事などでなかなかケアプラザに足を運んでもらえない世代を対象に、夜家事を終えてから自分の時間を作ってもらう事と日々のストレスを発散してリフレッシュしてもらう事を目的に今年度新しく企画した講座です。比較的若い世代を中心に参加者が増え来年度から自主化する予定です。

#### ■交流の場づくり

##### ①のしちりほっこりカフェ

「誰でも集える居場所づくり」を目標に音楽・体操・落語・脳トレなど様々な出し物を楽しみながら地域の方々の交流と見守りの場として年5回開催しました。地域の方々にも徐々に周知され楽しみにして下さる方も多い為来て下さった方に向けてハガキで開催のお知らせを郵送し足を運んでもらうよう努めました。

##### ②「げんきっこひろば」

地域の未就園児とその保護者の居場所づくりを目的としてベテランママをボランティアに迎えて子育ての情報交換の場と相談の場として毎週金曜日開催しています。今年度は参加者有志が集まって子育てサークルを立ち上げ団体登録されました。

・「ママの講座」

子育て中の母親を対象に今年度はお菓子作りと洋裁の講座を開きました。げんきっこ同様に物づくりを通して子育ての情報交換の場づくりを目的としています。

③ほのぼのコンサート

近隣の保育園児・地域の方々・地域の施設利用者・貸館利用団体・関係団体が集まる多世代交流の場を目的に、コンサートを年2回開催しました。高齢化率の高い上郷東地区においてケアプラザの利用年齢層が高い中、子ども達の元気な声が聞こえると他の貸館利用団体の方々も嬉しそうに笑顔になりました。

④歌声喫茶

野七里地域ケアプラザ・庄戸コミュニティハウスの2か所で外出の機会づくりと仲間作りを目的として開催しました。人気の講座で、遠く青葉区から足を運ばれる方もいらっしゃいます。野七里ケアプラザでは「うたとみひろば」として既に自主化されている為、次年度からは庄戸の他東上郷町などでも開催を予定しています。

⑤野七里春の文化祭

貸館利用団体の活動紹介と発表の場の提供と同時に近隣の高齢者施設・障害者施設の協力で物品販売を行い、地域の人達の集う居場所をめざして開催しました。今年度は悪天候にも関わらず800人近くの方が来場され各団体の発表や展示を御覧になりました。多くの方々にご来場頂く為、地域で開催される行事と重ならない様今年度は慎重に開催日を検討します。

⑥初心者のための麻雀教室

健康麻雀を通しての介護予防と仲間作りを目的とし、既存の貸館利用団体「いいじゃん会」の協力のもと、全10回の講座を開催しました。講座終了後は自主化し、「いいじゃん会・ツモの会」として活動を続けています。

■高齢者・障害者支援

①障害時余暇支援事業「のこのこ」

サポートセンター径・中野地域ケアプラザ・小菅ヶ谷地域ケアプラザと共催で3月29日に中野地域ケアプラザにて開催されます。地域のボランティアとセルフ社の協力でパン作りを行い、パン工場の見学もさせてもらう計画を立てています。

②「若年性認知症・栄区をつどい 笑風の会」

区内6館のケアプラザ共催にて若年性認知症の方とその家族のつどいを開催しました。

・「認知症予防サロン 野七里スリーAなずな会」

認知症予防のスリーAプログラムを行い認知症予防を目的とする方だけでなく、認知症の方も参加され月2回活動を行っています。

■次世代育成

①「保育士体験」

上郷保育園・ふぁみりーさぼーと・のあの協力で小学校高学年を対象に保育園児との交流を行いました。将来保育士になりたいという児童や子どもも参加しており、この講座がきっかけとなり将来の夢を後押しできたらと思いました。

・「夏の夕べに親子でバドミントン」

小中学生の親子を対象に地域のバドミントンクラブTopsの協力でバドミントンの講座を開催。思春期の親子の関係づくりと交流を目的としています。毎年参加される親子も増え夏の恒例行事になりつつあります。親子で参加出来る講座が少ないという声もあり、次年度以降継続して行いたい講座のひとつです。

・「こどもおかしきょうしつ」

小学校高学年～中学生を対象にクリスマスケーキとバレンタインチョコの手作り講座を今年度より開催しました。ケアプラザになかなか足を運んでもらえない世代を対象にケアプラザを知ってもらう事と手作りの楽しさを知ってもらう事を目的とし、季節のイベントに合わせて開催しました。

## ■生活環境の向上

庄戸小・旧庄戸中・旧野七里小の地域防災訓練に参加し、避難所での生活を想定した車椅子の基本操作の講習会を開催しました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①福祉保健活動の場として、情報ラウンジに空室状況の掲示することや、広報誌にカレンダーを用いて事業等見やすく周知する等、利用者が利用しやすい環境づくりを行っています。
- ②地域の施設やサロンなどから依頼を受けてボランティア団体のコーディネートを行いました。また、貸館利用団体からの依頼で地域の施設の紹介を行いボランティア活動につなげました。
- ③ボランティア交流会を開催し、団体同士の交流と情報交換の場としました。また、貸館利用団体の活動の紹介と発表の場として「野七里春の文化祭」を行いました。また、利用団体と地域の方達の交流の場として多世代が集う「ほのぼのコンサート」を開催しました。
- ④土日・夜間の稼働率アップの為、土曜日と夜間に自主事業を実施しました。参加者に土日夜間の貸館利用が平日昼間に比べて予約が取りやすくゆったりと利用できるとの認識を持ってもらう事ができました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ①スリーAリーダー養成講座  
サロン見守り交流会の中で「スリーAかたつむりの会」による講座を実施。地域のサロンなど活動の場で活かせるよう支援しました。
- ②ホームページ・ブログに関しては、来年度以降再度整備をして、誰もが見やすく利用できるよう整えていく予定です。
- ③ボランティア交流研修会  
ケアプラザで活動するボランティア同士の情報交換と交流を目的とする。今年度は「コーヒーの美味しい淹れ方講座」を開催し、ボランティア同士の交流会を行い情報交換の場としました。
- ④こはまシニアボランティアポイント登録講習会  
栄区6館のケアプラザでよこはまシニアボランティアポイントの啓発および制度を使ったボランティア活動促進の為、登録講習会を実施します。
- ⑤区社協ボランティアセンターより地域の障害のある男性の活動の場について相談があり、面談の結果ケアプラザでのボランティアをコーディネートしました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①貸室利用団体Ⅱに対して、年度の福祉保健活動の確認を行い活動がされていない団体に対しては活動先の紹介や支援を行いました。
- ②広報誌「ケアプラザNEWS」を年10回(9月・1月は休刊)を発行し、上郷東・上郷西地区に回覧、区役所、社協、近隣施設等に配架する他、自治会町内会長および各種団体長、ボランティアなどに郵送し、周知を図りました。また、地域のサロンなどを訪問した際にも配布するように心がけました。また、「広報よこはま」にて栄区全体への周知を行いました。ホームページ・ブログに関しては、来年度以降再度整備をして、誰もが見やすく利用できるよう整えていく予定です。

- ③「のしちり文化祭」や「ほのぼのコンサート」を開催し、多くの地域の方にご来場頂き貸館利用の団体の活動を紹介しました。また、団体参加希望の方が相談にこられた場合、代表者に連絡をとり可能な場合は活動の見学をして頂きました。
- ④区や社協、防災拠点で行われる会議や連絡会・研修会等に積極的に参加し情報の収集に努めました。
  - ・自主事業毎に参加者対象に行うアンケートと利用者アンケートから情報を収集し、事業の内容や貸館運営に活かすように努めました。
  - ・貸館利用者や来館された方の声を月3回の所内交流会議の際に持ち寄り、改善箇所の検討と対策を話し合い実行しました。
  - ・子供向けの講座に関しては地域の小・中学校に依頼をしてチラシを必要枚数届け、各家庭に配布して頂きました。
  - ・ケアプラザ前の掲示板は最新の情報を掲示し、また情報ラウンジにも同様の掲示物を置くことによって、貸館利用者だけでなく広く地域の方々に周知されるよう努めました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ①地域福祉保健計画を通して、地域の各種団体やサロンや見守り活動の団体、自治会と課題を共有し、課題解決に向けての話し合いを行いました。  
「健康づくり」の課題として、地域で多くの活動が盛んに行われているが、新しい方の参加は少ない傾向にあります。また、運動だけでなく食からも健康を考える必要があることから、こうした課題に対して、保健活動推進員を中心に「健康料理講座」の開催に繋がりました。  
また、生活支援ボランティアについて活動を行っている地域と、活動のない地域の方とで話し合いを行い、担い手不足の課題があげられました。
  - ・「上郷東地域見守りネットワーク」と共催でサロン見守り交流会を実施し、サロンの運営の課題や情報の交換の場作りに努めました。
- ②地域で活動を行っている団体の担い手不足の課題を解決するために、「野七里助っ人隊」と共催でボランティア講座を行い担い手の発掘に努めました。
  - ・地域参加のきっかけと健康を考えるための「健康料理講座」を包括支援センターと協働し、実施しました。
  - ・上郷東地区のシニア会連合より依頼を受け、包括支援センターと協働で認知症サポーター養成講座を行いました。
- ③包括・地域交流・居宅の6職種会議で情報共有・情報交換を行い、自治会町内会毎に情報シートを作成・整理することで、地域活動やニーズに「見える化」を行っています。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ①地区ごとに民生委員との情報共有会を地域包括支援センター、地域交流と協働で、行い、地域のニーズ、課題の把握を行いました。
  - ・区役所と包括のカンファレンスに参加し、個別ケースの把握をすると共に、情報の発信を行いました。
  - ・犬山町のシニアクラブ「プラチナ会」について、自治会長にヒヤリングを行い、資源の把握を行いました。
  - ・西ヶ谷ハイツの災害時用援護者支援の取組の支援を行い、区役所と連携し出前講座を行い、担い手の発掘と住民への取組の周知を行いました。その後、要援護者を募ったところ40名ほどの登録がありました。
- ②積極的にサロンに参加し地域のニーズや課題の把握を行いました。ミニデイサービスどんぐりでは、参加者と担い手不足の課題解決のため、包括と共同して支援を行

いました。また、他のサロンでも同じような課題が上がっているため、上郷西地区のサロン活動を行う団体の情報交換の場を設け、課題の共有と解決について話し合いを行ないました。

- ③地域福祉保健計画の推進のための会議に参加し、上郷東地区、上郷西地区の地域の課題やニーズの把握を行いました。

### (3) 連携・協議の場

- ①上郷東地区の地域福祉計画推進の会議に参加し、地域の課題を共有し、課題解決のため具体的に「健康づくり」「見守り」「生活支援ボランティア」について、地域の自治会や各種団体の方々と取組を話し合いました。
- ②包括と連携し、昨年度の地域ケア会議から上がった課題に対し、西ヶ谷団地の地域住民と管理会社と協議の場を開催し、「孤立死をなくすためにできること」について何が出来るかを話し合いました。今後、住民の見守りの目を増やすために、自治会、管理会社と共催で孤立死に関する講座を行っていく予定です。それと同時に、住民以外でも団地に入出入りする業者や新聞、郵便配達などと連携して見守りを行っていくような仕組み作りを取組んでいきます。
- ③包括・地域交流・居宅の6職種会議を行い、単町ごとのアセスメントを行い、地域の課題、やニーズについて検討し情報シートを作成しました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ①区6館の生活支援コーディネーターと、1層コーディネーターと区域全体の課題である担い手不足に対し、担い手発掘のための講座「サードエイジラボ」を実施し、ボランティアのきっかけづくりに取組みました。
  - ・栄区生活支援コーディネーター連絡会にて、区内全体で情報共有し、連携に努めました。
  - ・栄区6館の生活支援コーディネーターと、1層コーディネーターと共催にて、「ちょっとボランティア連絡会」を実施し生活支援ボランティア団体の情報交換と学習の場とします。
- ②長年近隣地域で活動を行っていたグループ桂台の解散を受けて、会の方に話しを伺い、解散にあたって他のサービスの利用では対応できない依頼として、病院などの付き添いがあげられました。ケアマネジャーや包括からもニーズとしてあげられていた為、「できることから始めるボランティア講座」を実施しました。参加者の中から付き添いのボランティアをやりたいと言う方が3名残り立ち上げに向けての支援を行い、活動を開始しました。
- ③エリア内にて「横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業サービスB」への申請を検討する団体があり、3件の相談があったがいずれも申請には至りませんでした。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ①地域のネットワークづくりの為、自治会長や郵便局長、民生委員、ケアマネジャー、施設職員等介護保険事業所の参加にて地域ケア会議を開催し、顔の見える関係作りとして、認知症の方の見守りについてグループワークにて意見交換を行いました。
- ②地域のニーズに合わせたネットワークの構築を考える為、民生委員からのヒアリングを行いました。

#### ② 実態把握

相談傾向を分析することで、地域ごとの個別ニーズの傾向を把握しました。各地域の民生委員と情報共有することで、民生委員が見る地域のニーズと包括で把握している地域ごとの個別ニーズを互いに共有することができました。

#### ③ 総合相談支援

- ①所内で迅速に情報を共有し、3職種それぞれの専門性を活かした相談支援を行うことができました。訪問による緊急対応が求められるケースが昨年度に比べて大幅に増えましたが、いずれも迅速に対応することができました。
- ②相談表や支援経過記録をもとに、定期的に支援経過の進捗確認と共有を行いました。相談表を名簿管理し、緊急対応時などに相談歴がある方の情報を包括職員が速やかに確認できるような仕組みづくりを行いました。
- ③高齢・障害支援課や関係機関と連携し、適時ケースカンファレンスを行いながら支援の方法を検討し、連携して対応することができました。

### (2) 権利擁護業務

#### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ①毎月の行政書士相談会をきっかけに、成年後見制度を必要とする方の相談の掘り起こしに取り組みました。
- ②ケアプラザ窓口で消費者被害に関するパンフレット等を配架しました。地域の介護保険事業所から依頼を受け、地域向けに「高齢者が狙われている詐欺の話」という題で講演を行いました。
- ③成年後見制度について、個別ケースの申立支援を行いました。老人福祉センターと共催で地域向けに成年後見制度の講座を開催しました。

## ② 高齢者虐待への対応

- ①虐待や虐待疑いの相談が前年度に比べ減少しました。支援者が困難を感じているケースや多問題ケース等は増加傾向にあります。高齢・障害支援課と定例カンファ等で情報共有の上対応しました。
- ②ケアプラザ職員向けに、人権と、虐待の早期発見と対応についての所内研修を行い、横浜市のマニュアルに基づいた対応の仕方や緊急性の把握について共有することができました。
- ③栄区社会福祉士分科会の共催で訪問介護事業所連絡会等に対し、虐待の早期発見と対応についての出張研修を行いました。

## ③ 認知症

- ①介護者のつどいでは、新たにボランティアの参加がありました。また、相談対応中の介護者など、毎回、新規の方の参加がありました。
- ②栄区6館共催にて若年認知症の人と家族の支援を目的とした「笑風の会」を年に3回実施しました。
- ③新たに包括職員2名がキャラバンメイト養成研修を修了し、上郷東地区シニアクラブ連合会向けに認知症サポーター養成講座を開催しました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域ケア会議を通じて、地域で起きている事に対しての地域住民の考えと各機関の考えの相違などを各機関が地域ニーズとして把握しました。その上で、どのように連携して行くかを協議検討していく場を設け、それぞれの立場でどのような事が出来るかを考える機会を作りました。
- ②市民向け講座の企画へ関係機関の参加を促し、講演の最後に地域を訪問している診療所の医師からお話して頂き、地域の方に顔を知ってもらう機会を作りました。

### ② 医療・介護の連携推進支援

- ①協力医と連携を図り、エリアを担当するケアマネジャーや介護保険事業所が気軽に相談に来られるよう協力医の来所日を周知しました。
- ②病院医療相談室等からの退院支援の相談があった際には、退院前カンファレンスに同席し担当ケアマネジャーの相談に乗りながら、高齢者が在宅で安心して生活できるよう、病院とケアマネジャーの連携支援を行いました。また、往診時にケアマネジャーに同行する様に意識して対応しました。

### ③ ケアマネジャー支援

- ①民生委員や地域住民と連携を図りながら、地域でこれからもケアマネジャーが専門性を発揮し、担当している高齢者を中心として目線を合わせた関わりが出来るよう、民生委員との情報交換会をはじめとし、医療従事者との密な連携方法や疾病についての勉強会などスキルアップのお手伝いをしました。
- ②専門的な知識だけではなく、基本的な訪問時のマナーについて、お作法の勉強会を行い、訪問時に失礼のないようケアマネジャーが集い一緒に学びました。ほぼ毎回、

ケアマネジャー勉強会でケアマネジャー同士の横の連携も図れるよう意識して声かけや場作りを行いました。また、普段からケースについての関わりで悩んでいる事があれば包括支援センターも一緒に考えていくこと、困難ケースに関しては包括支援センターだけではなく区役所とも連携を図り、問題解決のお手伝いをして行くことを周知しました。

- ③就労間もないケアマネジャーには、6包括共催で連携の重用性を学ぶ機会を設け、いつでも相談の出来る包括支援センターの説明も併せて行い、基本的なケアマネジャーの知識から施設見学、医療との連携について医師を招き講座を開きました。また、新人ケアマネジャーが話し合い、自主的な勉強会のグループを立ち上げるお手伝いを行いました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ①多職種が集い、情報交換や職の相互理解が得られネットワークの拡大が図れるよう様々な職種が集える勉強会や事例検討会を開催しました。
- ②病院、薬局等の医療機関との連携を密に行い、チームとして地域で多職種の連携が必要になった際にスムーズに対応できるよう日頃から情報交換を行いました。
- ③地域ケア会議において、様々な専門家と地域がその後も連携していけるよう調整役になりながら、参加者が自由に発言できるような会議の雰囲気作りを行い、終始和やかな雰囲気の中で会議を行う事が出来ました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ①「今、出来ている事の継続」と「出来る力の再確認」を本人、家族と行いながら具体的なプランの作成、サービスの調整を行いました。
- ②フォーマル、インフォーマルに関わる全ての機関がチームとなり、ご本人のサポートが出来るよう調整しました。
- ③総合事業や、介護保険制度について最新の情報が提供できるよう積極的に研修等に参加しました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ①地域の方々が心身ともに安心して日々の生活を送る事が出来ることを目標に介護予防の普及と啓発を行ってきました。それとともに、介護予防に資する活動の育成と支援にも取り組みました。
- ②多少の痛みや麻痺があっても椅子に腰掛けたまま出来るイージー体操を継続して開催しました。また、季節毎のイベントを盛り込み楽しく続けられるように工夫しました。
- ③地域向けに、認知症予防と転倒予防の体操講座を月6回のペースで行いました。続ける事で効果が実感出来、予防への意識付けも浸透しつつあります。
- ④元気づくりステーションには講座の案内や健康教育支援・後方支援を行いました。
- ⑤地域の認知症予防の会『野七里スリーAなずなの会』を進めている地域の方々と関わりながら、スキルアップと新規参加者の発掘に努めました。（交流と共催）
- ⑥ケアプラザ内で野菜栽培している園芸グループは、季節毎に野菜を収穫し、その都度栄養の事を話し合いながら調理実習を行いました。また季節の花を植えるなど、

通りすがりの人達の間を楽しませました。

- ⑦ 男性限定の調理講座『メンズ厨房』を上郷地区センターと共催で行いました。
- ⑧ 地域向けに『干し野菜調理講座』と『時短調理講座』をセットで行いました。参加者同士の交流や情報交換が多く見られました。
- ⑨ 医療講座：『癌総論』と『自分で治すリハビリテーション“膝”』を開催しました。
- ⑩ 口腔相談：予約制で、全区民向けに歯科医師による無料口腔相談を通年で行いました。
- ⑪ 昭和ライブラリ：昭和の時代の雑誌や写真集などを地域の方々から寄付していただき、エントランスにて誰でも見られるように置き周知しました。
- ⑫ ぎゅっと詰まったはちみつの良い話：2回連続講座で実施しました。興味はあっても知らなかった事を多く学べました。
- ⑬ とっておき冷え対策講座：講座では、冷えのメカニズムと個人の冷えの性質を知り、対策を具体的に実践しました。
- ⑭ スポーツ吹き矢体験会：地域で愛好者が多く、健康作りや仲間作りにも繋がる事を期待して実施しました。3回連続の実施後に自主化し、ケアプラザ利用団体に登録しました。
- ⑮ 布で作るお野菜講座：『お針箱』と言うボランティアグループに依頼して実施しました。参加者とボランティアさんがほぼ1対1になる様に手配してもらい、和気藹々とした講座になりました。
- ⑯ のしちり寄席：29年度は2回実施しました。出演団体を別々にお問い合わせ出来たので、雰囲気の違いが会になりました。お客様も楽しみに待って頂けるようになり、徐々に広まってきていると思います。
- ⑰ 出張講座：転倒予防教室、認知症予防講座、ロコモ予防講座、ヒートショック予防講座、熱中症予防講座を開催しました。

## 5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

様々な方々にご利用いただく公共施設として、どなたにも常に安全で快適な施設環境を保持する為に施設設備の適切な維持管理に努めました。

1.建物・施設設備等については、法令に基づき外部専門業者による定期検査の実施に加え職員による毎日の環境整備による不具合の早期発見に努めました。

2.施設を清潔に保ち、快適にご利用いただくために、専門業者による定期的な全館清掃・植栽管理・害虫駆除に加え職員による毎日の環境整備や日常清掃により、衛生的で快適な施設環境の維持に努めました。

施設の衛生管理については、感染症対策として手指消毒や嗽の徹底をはかるため、手指消毒用のアルコール及び使い捨て嗽用コップを各所に常設し、感染症予防に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

ケアプラザとして、効果的に機能を発揮できるよう経費はもとより業務についても職員間や自治会町内会や地域団体との連携による効率化を図るなど、適正な運営に努めました。

また、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、資源の有効活用・エネルギー利用の削減に取り組み、サービスの質を落とすことなく効率的運営に取り組みました。

(3) 苦情受付体制について

「苦情受付担当者」「苦情解決責任者」「第三者委員」の配置により苦情受け体制を整えるとともに、施設内にご意見箱や苦情受付案内を掲示し、苦情申し立てがしやすい環境づくりに努めました。

また、苦情に至らないご意見や寄せられた苦情については、職員間で情報共有し苦情の原因を分析し改善策を話し合う等、再発防止に努め業務改善・サービス向上に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故対応マニュアル及び緊急時対応マニュアル」に基づき、緊急時に迅速適正に対応できるよう、職員への対応手順周知を行いました。

また、消防署及び地域参加の「消防訓練」や併設施設との合同開催となる「特別避難場所訓練」をそれぞれ年2回実施しました。

また、日々の地域の防犯パトロール隊の巡回や職員による施設内巡回により、目視による防犯安全対策を講じております。

書類やパソコン等の貴重品は書庫内に設置してある施錠できるキャビネットで収納保管し、更に書庫の出入り口に施錠するなど二重の防犯対策をとり盗難紛失予防に努めました。

(5) 事故防止への取組について

個人情報取扱・感染症リスク・施設設備等について、常に発生リスクを職員全員が安全管理の意識を持って、事故防止に努めました。  
また、事故発生時は事故対応マニュアルに沿って、法人及び関係各所へ速やかに報告するとともに原因・課題分析し、対応改善策を検討・共有しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いについては、横浜市の個人情報保護に関する条例及び法人の定める「個人情報保護に対する基本方針」に則り、個人情報漏洩事故の未然防止に努めました。また、個人情報は常時施錠できるキャビネットで管理しております。

(7) 情報公開への取組について

全職員を対象に「個人情報保護」についての研修を実施し、個人情報取扱について周知徹底しています。また、個人情報の郵送やFAX送信については、ダブルチェックを義務としています。  
ホームページや広報紙、また、運営協議会等において事業内容等を積極的に公開しました。

(8) 人権啓発への取組について

ケアプラザの職員全員が人権について正しく理解し広く啓発していけるよう、職員研修の一環として『人権について』の勉強会を実施しました。  
法人に関係する全ての利用者の人権を尊重し、侵害しないことを具体的な行動で示すことが出来るように「宣誓書」を作成し情報ラウンジに掲示しております。  
※横浜市野七里地域ケアプラザ 宣誓  
「足を運んでくださった全ての方に立ち止まって笑顔でご挨拶をします。」

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市の推進する「ヨコハマ3R夢プラン」に継続して参加し、コピー用紙の裏面使用やゴミ分別の徹底などでゴミの少量化や資源化に積極的に取り組みました。  
また、館利用者のみなさまのご理解をいただきながら、冷暖房の設定温度実施遵守・こまめな消灯・事務機器の未使用時に電源をOFFにするなど、節電への取り組みを継続しました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1名

《目標に対する成果等》

- ①「今、出来ている事の継続」と「出来る力の再確認」を本人、家族と行いながら具体的なプランの作成、サービスの調整を行いました。
- ②フォーマル、インフォーマルに関わる全ての機関がチームとなり、ご本人のサポートが出来るよう調整しました。
- ③総合事業や、介護保険制度について最新の情報が提供できるよう積極的に研修等に参加しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
156	154	150	147	156	161
10月	11月	12月	1月	2月	3月
166	173	176	170	168	174

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 1名（非常勤勤務）

《目標に対する成果等》

- ① 利用者の意思を尊重し、心身の状況や生活環境に配慮したプラン作成に努めました。
- ② 地域包括支援センター、地域活動交流事業、生活支援体制整備事業と連携、協力し適切なサービスが適時に利用できるよう、利用者の在宅生活の支援に努めました。
- ③ 介護状態の予防・軽減及び重度化予防の視点に立ち、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営む事ができるよう、介護保険や医療・福祉サービス、地域の社会資源などのインフォーマルサービスの総合的且つ効率的提供に努めました。
- ④ 介護保険制度や様々なサービスについて、わかりやすく伝えられるように努めました。
- ⑤ 法人内のケアプラザ居宅介護支援事業所と研修を行ったり、外部の研修に積極的に受講し、スキルアップに努め、利用者の支援に繋げられるように努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 地域包括支援センターと連携協力し、困難ケースや緊急ケースについて積極的な受け入れに努めました。
- ② 生活支援コーディネーターと協力し、付き添いボランティアの方々に向けて要支援者の介助方法や車いす操作方法の指導・講演を行いました。ケアプラザ居宅介護支援事業所として、ボランティアの方々との交流や情報提供を行いました。
- ③ 地域包括支援センター、地域活動交流事業、生活支援体制整備事業、居宅介護支援専門員が連携し、担当者不在でも緊急対応がとれるよう、体制を整えています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	75	79	79	78	75
10月	11月	12月	1月	2月	3月
72	65	64	65	64	63

● 通所介護・認知症対応型通所介護（デイサービスなし）

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要介護1） 円
  - （要介護2） 円
  - （要介護3） 円
  - （要介護4） 円
  - （要介護5） 円
- 食費負担 円
- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分  
 （事業対象者） 円  
 （要支援1） 円  
 （要支援2） 円
- 食費負担 円
- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月



平成29年度「横浜市野七里地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,004,977	△ 349,526	16,655,451	16,655,451	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	215,700	△ 215,700	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	469,052	△ 469,052	
印刷代	0		0	176,793	△ 176,793	
自動販売機手数料	0		0	242,348	△ 242,348	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	49,911	△ 49,911	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,004,977	△ 349,526	16,655,451	17,340,203	△ 684,752	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,200,000	0	10,200,000	8,873,669	1,326,331	
本俸	7,206,755		7,206,755	6,088,759	1,117,996	
社会保険料	1,385,424		1,385,424	909,370	476,054	
手当計	1,579,852		1,579,852	1,843,062	△ 263,210	
健康診断費	14,169		14,169	17,478	△ 3,309	
勤労者福祉共済掛金	13,800		13,800	15,000	△ 1,200	ソウエルクラブ
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事務費	771,429	0	771,429	1,420,901	△ 649,472	
旅費	23,589		23,589	5,052	18,537	駐車場代
消耗品費	180,000		180,000	283,192	△ 103,192	事務用品等
会議随費	45,896		45,896	69,185	△ 23,289	コーヒー、お茶等
印刷製本費	50,000		50,000	142,372	△ 92,372	コピー代等
通信費	130,034		130,034	197,553	△ 67,519	電話、郵便、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	8,400	△ 8,400	
備品購入費	3,369		3,369	199,328	△ 195,959	
図書購入費	40,000		40,000	86,712	△ 46,712	
施設賠償責任保険	164,958		164,958	122,188	42,770	各種保険等
職員等研修費	1,760		1,760	18,256	△ 16,496	研修交通費
振込手数料	1,016		1,016	1,225	△ 209	
リース料	68,688		68,688	68,688	0	AEDレンタル
手数料	9,119		9,119	5,541	3,578	はかり点検料等
地域協力費	53,000		53,000	60,000	△ 7,000	慶弔費
その他	0		0	153,209	△ 153,209	
事業費	1,070,572	0	1,070,572	768,522	302,050	
運営協議会経費	42,000		42,000	29,334	12,666	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,028,572		1,028,572	739,188	289,384	
管理費	4,146,976	0	4,146,976	2,795,717	2,330,325	
建築物・建築設備点検	484,404		484,404	305,941	178,463	予算：指定額
光熱水費	1,300,000	0	1,300,000	979,066	1,300,000	
電気料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
ガス料金	100,000		100,000		100,000	内訳が一致していません
水道料金	200,000		200,000		200,000	
清掃費	600,000		600,000	439,635	160,365	
修繕費	474,000	0	474,000	302,937	171,063	予算：指定額
機械整備費	300,000		300,000	179,172	120,828	
設備保全費	988,572	0	988,572	588,966	399,606	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	119,951	80,049	
消防設備保守	100,000		100,000	59,971	40,029	
電気設備保守	100,000		100,000	48,879	51,121	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	32,166	17,834	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	538,572		538,572	327,999	210,573	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	816,000	0	816,000	709,893	106,107	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	816,000		816,000	709,893	106,107	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,004,977	0	17,004,977	14,568,702	3,415,341	
差引	0	△ 349,526	△ 349,526	2,771,501	△ 4,100,093	

自主事業費収入	1,028,572		1,028,572	0	1,028,572	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	1,028,572		1,028,572	739,188	289,384	
自主事業収支	0	0	0	△ 739,188	739,188	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	242,348	△ 242,348	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	242,348	△ 242,348	

**平成29年度「横浜市野七里地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料(包括)	18,950,402	△ 218,834	18,731,568	18,731,568	0	横浜市より	
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より	
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,656,914	4,132,086	4,132,086	0	横浜市より	
利用料金収入			0	0		この列は入力しない	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	449,150	△ 449,150		
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	49,000	△ 49,000		
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	7,900	△ 7,900		
自主事業収入			0	0		この列は入力しない	
雑入	0	0	0	0	0		
印刷代	0		0	0	0		
自動販売機手数料	0		0	0	0		
駐車場利用料金収入	0		0	0	0		
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0		
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0		
<b>収入合計</b>	<b>24,890,402</b>	<b>△ 1,875,748</b>	<b>23,014,654</b>	<b>23,520,704</b>	<b>△ 506,050</b>		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	21,180,000	0	21,180,000	21,809,248	△ 629,248		
本俸	18,044,508		18,044,508	12,903,000	5,141,508		
社会保険料	1,456,477		1,456,477	2,648,230	△ 1,191,753		
手当計	1,629,378		1,629,378	6,213,894	△ 4,584,516		
健康診断費	28,637		28,637	23,124	5,513		
勤労者福祉共済掛金	21,000		21,000	21,000	0	ソウエルクラブ	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0		
その他	0		0	0	0		
事務費	514,286	0	514,286	1,003,112	△ 488,826		
旅費	40,000		40,000	13,213	26,787	駐車場代	
消耗品費	100,000		100,000	153,223	△ 53,223	事務用品等	
会議随費	10,000		10,000	10,000	0	コーヒー、お茶等	
印刷製本費	50,000		50,000	106,758	△ 56,758	コピー代等	
通信費	144,760		144,760	208,525	△ 63,765	電話、郵便、切手等	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
横浜市への支払分	0		0	0	0		
その他	0		0	0	0		
備品購入費	5,000		5,000	35,640	△ 30,640		
図書購入費	2,000		2,000	3,435	△ 1,435		
施設賠償責任保険	90,000		90,000	101,047	△ 11,047	各種保険等	
職員等研修費	50,000		50,000	43,065	6,935	研修交通費	
振込手数料	648		648	289	359		
リース料	0		0	0	0		
手数料	3,878		3,878	0	3,878		
地域協力費	18,000		18,000	3,000	15,000	慶弔費	
その他	0		0	334,917	△ 334,917		
事業費	2,015,715	0	2,015,715	2,005,272	10,443		
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額	
指定管理料充当自主事業(包括)	925,715		925,715	1,088,651	△ 162,936		
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	213,781	△ 62,781	予算:指定額	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	198,840	110,160	予算:指定額	
管理費	1,180,401	0	1,180,401	743,160	697,498		
建築物・建築設備点検	128,686		128,686	81,325	47,361	予算:指定額	
光熱水費	380,000	0	380,000	260,257	380,000		
電気料金	270,000		270,000		270,000		
ガス料金	40,000		40,000		40,000	内訳が一致していません	
水道料金	70,000		70,000		70,000		
清掃費	170,000		170,000	116,865	53,135		
修繕費	126,000		126,000	80,527	45,473	予算:指定額	
機械警備費	100,000		100,000	47,628	52,372		
設備保全費	270,000	0	270,000	156,558	113,442		
空調衛生設備保守	50,000		50,000	31,885	18,115		
消防設備保守	30,000		30,000	15,941	14,059		
電気設備保守	30,000		30,000	12,993	17,007		
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,550	1,450		
駐車場設備保全費	0		0	0	0		
その他保全費	150,000		150,000	87,189	62,811		
共益費	0		0	0	0		
その他	5,715		5,715	0	5,715		
公租公課	0	0	0	0	0		
事業所税	0		0	0	0		
消費税	0		0	0	0		
印紙税	0		0	0	0		
その他( )	0		0	0	0		
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない	
本部分	0		0	0	0		
当該施設分	0		0	0	0		
二一三対応費	0		0	0	0		
<b>支出合計</b>	<b>24,890,402</b>	<b>0</b>	<b>24,890,402</b>	<b>25,560,792</b>	<b>△ 410,133</b>		
差引	0	△ 1,875,748	△ 1,875,748	△ 2,040,088	△ 95,917		
自主事業費収入	1,385,715			506,050		予算:指定管理料に含む	
自主事業費支出	1,385,715			1,501,272			
自主事業収支	0			△ 995,222		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人	
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費	
管理許可・目的外使用許可収支	0			0			

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市野七里地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	4594	10742		
	その他	5555	274	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	5555	274		
	事業・負担金収入	0	0		
	その他	0	0		
<b>収入合計(A)</b>		<b>10149</b>	<b>11016</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費	0	9993		
	事務費	28	241		
	事業費	37	224		
	管理費	562	1322		
	その他	8309	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0		
	消費税	0	0		
	介護予防プラン委託料	8309	0		
	その他	0	0		
<b>支出合計(B)</b>		<b>8936</b>	<b>11780</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>1213</b>	<b>-764</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市野七里地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
げんきっこひろば	地域の未就園児の親子	120,436	地活	86,936	33,500	0	22,273	94,905	3,258
	延べ1052名		包括						
	食事会・体操時のみ有料		生活						
笑風の会 (栄区ケアプラザ6館共催)	若年性認知症当事者とその家族	2,066	地活	0	0	0	0	1,968	98
	延べ108名		包括						
	0		生活						
歌声喫茶in庄戸	地域の方	23,421	地活	7,021	16,400	0	13,364	9,865	192
	84名		包括						
	200円		生活						
歌声喫茶in野七里	地域の方	25,961	地活	7,761	18,200	0	13,364	12,510	87
	93名		包括						
	200円		生活						
野七里春の文化祭	地域の方	54,085	地活	54,085	0	0	0	51,294	2,791
	276名		包括						
	200円		生活						
ママ講座 ロールケーキ	地域の方	10,177	地活	7,677	2,500	0	6,682	3,495	0
	14名		包括						
	500円		生活						
ほっこりカフェ	地域の方	94,173	地活	70,173	24,000	0	20,046	69,257	4,870
	281名		包括						
	100円		生活						
ほのぼのコンサート	地域の方	4,600	地活	4,600	0	0	0	4,480	120
	177名		包括						
	無料		生活						
春のポールウォーキング	地域の方	9,903	地活	6,303	3,600	0	9,466	354	83
	延べ25名		包括						
	400円		生活						
野七里ケアプラザNEWS	地域一般	119,591	地活	119,591	0	0	0	24,040	95,551
	年10回発行		包括						
	無料		生活						
パソコン講座	地域の方	2,874	地活	2,874	0	0	0	2,874	0
	47名		包括						
	無料		生活						
スリーAなずなの会 (後方支援)	地域の方	9,652	地活	9,652	0	0	0	9,520	132
	延べ170名		包括						
	100円		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
小学生の保育士体験	地域の小学4～6年生	2,558	地活	2,558	0	0	0	2,274	284
	延べ29名		包括						
	無料		生活						
ママの講座 オリジナルバッグを 作りましょう (上郷地区センター共催)	地域の母親	6,000	地活	6,000	0	0	6,000	0	0
	延べ16名		包括						
	0		生活						
夏の夕べに 親子でバドミントン (上郷地区センター共催)	地域の親子	9,745	地活	5,245	4,500	0	6,682	2,133	930
	延べ63名		包括						
	500円		生活						
ナイトエアロビクス	地域の方	91,996	地活	31,996	60,000	0	83,526	8,400	70
	延べ187名		包括						
	1500円(全5回)を3回		生活						
初心者向け麻雀教室	地域の方	54,648	地活	6,648	48,000	0	16,705	35,689	2,254
	延べ197名		包括						
	3000円(全10回)		生活						
こどもおかしきょうしつ	地域の小学4～6年生	12,534	地活	7,534	5,000	0	6,682	5,730	122
	11名		包括						
	500円		生活						
こどもカフェ上郷 (後方支援)		428	地活	428	0	0	0	0	428
	後方支援として		包括						
			生活						
上郷東見守りネットワーク	地域一般	669	地活	669	0	0	0	0	669
	事務局として		包括						
			生活						
防災拠点訓練	地域の防災拠点として	591	地活	851	0	0	0	0	851
	庄戸小・旧庄戸中・旧野七里小		包括						
			生活						
ボランティア交流会	ボランティア活動者	61,917	地活	61,917	0	0	11,136	50,781	0
	37名		包括						
	無料		生活						
頑張るママの応援講座 (上郷地区センター共催)	地域の母親	9,183	地活	9,183	0	0	8,908	275	0
	延べ28名		包括						
	0		生活						
保健活動推進員料理教室 (後方支援)	地域の方	139	地活	139	0	0	0	0	139
	18名		包括						
	0		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
障害児余暇支援事業 のこのこ 中野・小菅ヶ谷CP共催	地域の障害児とその親	229	地活	229	0	0	0	0	229
	17名		包括						
	0		生活						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	65歳以上のボランティア活動従事者	60	地活	60	0	0	0	0	60
	7名		包括						
	無料		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市野七里地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
地元野菜とケアプラザで採れたゴーヤを使った健康料理講座	地域	2,493	地活					
	7名		包括					
	200円		生活	1,093	1,400	0	0	1,933
サードエイジラボ	一般	5,624	地活					
	35名		包括					
	(500円)		生活	5,624	0	0	0	67
できることから始めるボランティア講座	地域	11,568	地活					
	32名		包括					
	なし		生活	11,568	0	0	10,568	440
男の腕みがき塾	地域	15,636	地活					
	13名		包括					
	500円		生活	9,139	6,500	0	0	15,076
上郷西サロンボランティア交流会	上郷西地区サロンボランティア	7,896	地活					
	21名		包括					
	なし		生活	7,896	0	0	0	7,896
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市野七里地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい	介護者	59,213	地活	59,213	0	0	51,543	7,670	0
	24名		包括						
	無料		生活						
野七里終活講座	地域住民	36,815	地活	36,815	0	0	32,274	4,541	0
	131名		包括						
	無料		生活						
楽しく学ぶ成年後見制度の話	地域住民	11,236	地活	11,236	0	0	1,136	100	0
	8名		包括						
	無料		生活						
行政書士による出張相談	地域住民	150	地活	150	0	0	0	150	0
	13名		包括						
	無料		生活						
のしちり健康作り体操	地域住民	421,896	地活	226,896	195,000	0	368,000	6,216	47,680
	390名		包括						
	500円		生活						
イージー体操	高齢者	445,755	地活	177,255	268,500	0	416,022	6,773	22,960
	537名		包括						
	500円		生活						
スポーツ吹き矢体験会	地域住民	4,524	地活	4,524	0	0	0	3,404	1,120
	36名		包括						
	無料		生活						
がん総論	地域住民	184	地活	184	0	0	0	184	0
	12名		包括						
	無料		生活						
なんでも口腔無料相談	地域住民	178	地活	178	0	0	0	178	0
	5名		包括						
	無料		生活						
干し野菜・時短料理	地域住民	17,226	地活	12,726	4,500	0	13,364	3,862	0
	18名		包括						
	500円		生活						
布で作るお野菜講座	地域住民	13,041	地活	9,041	4,000	0	4,836	8,205	0
	24名		包括						
	500円		生活						
みんなで勉強会5月	ケアマネジャー	12,801	地活	12,801	0	0	10,800	2,001	0
	24名		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアマネ勉強会	ケアマネジャー	972	地活						
	17名		包括	972			0	972	0
	無料		生活						
認知症の理解	地域住民	7,647	地活						
	80名		包括	7,647			0	7,647	0
	無料		生活						
みんなで勉強会6月	ケアマネジャー	22,274	地活						
	38名		包括	22,274			22,274	0	0
	無料		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上郷東地域見守りネットワーク (後方支援)	上郷東地区地域福祉保健計画推進の為、上郷東地域見守りネットワーク事務局として後方支援を行う。今年度は全体会で「見守り」「健康づくり」「ボランティア」の3グループに分かれて地域の課題とその解決策を検討した。結果、「健康づくり」のグループでは保健活動推進員が中心となり、食からの健康にポイントを置いて「免疫力アップのための料理講座」を開催した。また、高齢者のみならず次世代育成の観点から、地域の有志が立ち上げた「こどもカフェ上郷」の後方支援を行った。	定例会：毎月第3水曜日 全体会：7月・11月実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン見守り交流会 (上郷東地域見守りネットワーク共催)	上郷東地区で開催しているサロンの運営スタッフと見守り活動をしている人達に向けて勉強会と情報交換の場を作り、活動に活かしてもらうように支援した。第1回目はスリーAかたつむりの会の方を講師に認知症についてと予防のための簡単なゲームを教えてもらった。第2回目は転倒防止と認知症予防に効果のあるスクエアステップを体験した。どちらの会も講座後それぞれのサロンの活動内容は抱える課題を話し、情報交換を行った。	10月・H30.3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域防災拠点訓練	災害時の要援護者支援、地域防災拠点との連携を目的に、地域防災拠点の定例会参加と訓練にて要援護者に対する支援方法(今年度は車椅子の基本操作)についてを行った。庄戸小学校・旧庄戸中学校・旧野七里小学校防災拠点を支援。	定例会月1回 訓練年1回 (庄戸小は拠点開設訓練も含めると2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員情報交流会 (包括主催)	民生委員との連携をより密にするため、エリアごとの民生委員とエリアの情報共有・情報交換を行った。	上東・西のエリア 毎に1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコンで作ろう 暑中見舞い/ 年賀状	地域の方に向けて、これから必要になってくるパソコン技術の習得や地域の方との交流、または生きがい作りとして開催した。貸館利用団体に講師をお願いして、夏は暑中見舞い、冬は年賀状の作成をおこなった。	6月・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者のための 麻雀教室	認知症予防にも効果があるとされる健康麻雀を楽しみながら高齢者の生きがい作り、特に男性の引きこもり防止の為に開催。貸室利用団体「いいじゃん会・栄」のメンバーを講師に初心者向けの講座を行った。講座終了後は参加者の話合いの下、自主化され「いいじゃん会・栄」のサポートを受けながら継続して活動を行っている。	9月より毎週土曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のらくらく ポールウォーキング (上郷地区センター・翠風荘共催)	ポールを使って姿勢改善や介護予防を目的に開催した。同時にウォーキングを通じて仲間づくりを目的とした。ウォーキングだけでなく、途中の講演でポールを使ったエクササイズを行い若い世代にも親しんでもらえるようなプログラムも取り入れた。	5月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶in野七里	高齢者の方を中心に閉じこもり防止・仲間づくりや楽しみの場として開催した。アコーディオンの伴奏に合わせて昔懐かしい歌や唱歌をお腹の底から声を出し歌うことによって、ストレス発散や健康づくりにも繋がり、今年度も2回で93名の参加と人気の事業になった。野七里で行う歌声喫茶は既に「うたとも広場」として自主化しており、歌声喫茶に参加された方がうたとも広場への参加に繋がった。	6月・9月

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声喫茶in庄戸 (庄戸コミハ共 催)	歌声喫茶in野七里の出張講座として、ケアプラザまで来館しにくい庄戸地域の方が参加できるように開催した。こちらの事業も人気で2回で84名の参加があった。	4月・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ナイトエアロビ クス	昼の時間帯に運動などの講座に参加できない方の為に夜間の健康講座を実施した。家事や仕事を終えた方を対象に健康づくりとリフレッシュを目的とした。同時に夜間の貸館の稼働率をあげる目的も含まれている。参加者に20～40代の女性も多く、若い世代の取り込みも行えた。同講座は欠席者も少なく、3月より同じ時間帯で自主化され活動している。	9月～12月まで (全15回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のしちり ほっこりカフェ	地域の方を対象に誰でも参加できるカフェを開催した。現在は主に高齢者を対象に引きこもり防止や仲間づくり・情報交換や相談の場を提供すると同時に「ほっこり」できる居場所作りを目的とする。お茶を飲みながら、健康講座や歌、演芸などで楽しいひとときを過ごしてもらい、次回また来たいと思ってもらえるような居場所になるように企画した。	5月・7月・10月・ 1月・3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの コンサート	多世代交流と地域で活動する団体の情報交換と発表の場の提供を目的とする。 近隣保育園（上郷保育園、ふぁみりーさぼーと・のあ）、貸室利用団体、高齢者施設利用者が集まって演奏を聴いたり歌をうたったり踊ったりしながら楽しいひとときを過ごし交流を深めた。	6月・1月

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきっこひろば	地域の子育て支援事業として、未就園児とその親の集いの場として開催。地域の子育てを終えたボランティアが参加し母親達の話し相手や相談相手として参加し、子育てに追われる母親達がほっと一息できる居場所として毎週金曜日（祝日は休み）開催した。今年は3月に卒業した子供の親同士が、同世代の子供を持つ親子の交流の場としてサークルを立ち上げた。	毎週金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
げんきっこひろば～親子でリトミック～	げんきっこひろばの中で地域の未就学の子供と親を中心に親子で楽しめるリトミックを開催した。地域の子育て支援の一環として親子双方のストレス解消と親子のふれあいを目的とした。音楽に合わせて親子一緒に身体を動かして遊び、特に第2子子育てに追われる母親にとっては、第2子をスタッフに預けて第1子とゆっくり触れ合える大切な時間となった。	6月・8月 12月・2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
げんきっこ食事会	地域のボランティアとの交流及び親同士の交流を目的に開催した。ボランティアの協力を得て、食事を提供し親子とボランティアで食卓を囲み子育ての悩みなどを話したり、幼稚園や保育園などの情報交換の場となった。	5月、9月、12月 3月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
がんばるママの応援講座（上郷地区センター共催）	地域の母親達に手作りの楽しさと、よさを伝える事を目的に開催した。幼稚園や小学校に上がる子供を持つ母親対象にサブバッグやお弁当袋、靴袋などを地域の講師より教わった。	2月(2回)

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ママの講座	地域の母親を対象にお菓子作りをしながらおしゃべりや情報交換をする息抜きの場作りとして開催した。ボランティアの見守りつきで子供連れでも参加できるようにした。手軽につくれるロールケーキを小学生の子供も参加して和気藹々と楽しく作った。	4月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オリジナルバッグをつくりましょう	地域の方を対象に自分だけのオンリーワンのバッグを作成する楽しさを味わってもらった。なんでも手に入る時代に手作りの良さをあらためて実感してもらおう事が目的。地域の方を講師に、自分の家にある記事を持ってきてオリジナルバッグを作成する。ズボンをリフォームしたり、個性豊かな作品が出来上がった。	6月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 ～小児救急の かかり方～	子育て中の怪我や急病の対処法や地域に頼れる場所がある事を知ってもらい、自分一人で育児を抱え込まないようにする事が目的。栄消防署救急担当課長山崎氏による乳幼児の救急時の対応方法と救急車を呼ぶタイミングを教えてもらった。病院へ行くことが子供にとって最善の方法なのかなかなか見極めが付かない事が多く、プロの視点から教えてもらい「子どもの病気にむやみに不安がらなくても大丈夫という気持ちになった」という声が寄せられた。	7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生の 保育士体験	年上の子が年下のこの面倒をみる事により、優しさやいたわり、心の豊かさを育むことで地域の将来の人材育成をする事を目的とした。近隣の小学生が上郷保育園、ふぁみりーさぼーと・のあの園児達のお世話をしたり、一緒に遊んだりして2日間の体験を行った。「小さい子が好きだから」「大きくなったら保育さんになりたから」という児童が多く、この中から実際に将来子供に関わる仕事に就く児童がいるかもしれないと期待してしまうほど、皆一生懸命で楽しそうに体験してくれた。	8月(2回)

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏の夕べに 親子で バドミントン	親子で身体を動かす時間と場を共有し、日頃不足しがちな親子のコミュニケーションの機会の提供とケアプラザに馴染みの無い世代への周知を目的とした。3日間に渡り地域のバドミントンチームを講師に指導を依頼し、親子でチームになって対抗戦を行った。毎年参加する親子もあり、夏の定番事業となってきた。スポーツの事業で親子で参加できる事業は少なく今回も多数の参加があった。	8月(3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもおかし きょうしつ	小学校高学年と中学生を対象に、お菓子作りを通して地域の大人と関わってもらおうと同時になかなか訪れる機会のない年代の子ども達に、ケアプラザをもっと身近に感じてもらう事を目的とした。今年度はクリスマスの前に「ブッシュ・ド・ノエル」の教室を開催した。日頃、お店でしか買わないクリスマスケーキを自分達で作れた事に自分でもできると自信に繋がったようだ。バレンタイン前にチョコレートの講座を企画したが、インフルエンザのためキャンセルが多く、中止となった。	12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティア ポイント登録 研修会	サービス振興会主催の登録研修会を地域のケアプラザで開催することにより、より多くの方が参加しやすくなり、ケアプラザ主催の事業を伝え個人ボランティアとして活動してもらおう、人材発掘にもつなげることを目的とした。今回の参加者の中から、地域に最近引っ越してこられた方が地域のことをもっとよく知りたいとの希望でケアプラザ主催の事業でボランティアとして活動を開始した。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	日頃ケアプラザでボランティアとして活動して下さる地域の方達に向けて、役に立つ講座と他のボランティアとの交流を図った。前半は「コーヒーの淹れ方講座」を開催した。実際に自分達でコーヒーをいれ、水、温度、淹れる人によっても味が全く違う事を体験してもらった。後半は軽食を食べながら各自の活動内容紹介や告知、質疑応答などで交流を図った。	2月

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のしちりスリーA なずなの会 (後方支援)	認知症予防サロン野七里スリーA「なずなの会」を支援し、地域の認知症の方の集いの場と認知症予防の啓発が目的。「あかるく・あたまをつかって・あきらめない」を標語に楽しく笑いながらプログラムをリーダー（ボランティア）中心に行った。	毎月第2・第4 木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区若年性認知症の人とその家族を支える会 笑風の会	若年性認知症の当事者とその家族の集いを開催して、交流を図り、日頃の悩みや情報交換や当事者同士の交流を図る。「笑風の会」という集いを年3回開催し、「認知症の人と家族の会」の方達に相談にのって貰ったり、家族同士の交流を図ったり医療関係の専門家(歯科医など)に来て貰って講座を開いた。また、当事者は専門ボランティア(近隣の介護施設職員)とレク(散歩やお買い物、カラオケなど)をして楽しい時間を過ごしてもらう。	6月・11月・2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業 「のこのこ」	中野地域ケアプラザ・小菅ヶ谷地域ケアプラザの3館共催で障害のある子ども達が生まれ育った地域で安心して暮らしていけるように、放課後デイではカバーしにくい地域の人達との関わりに重きをおいた支援を行った。今回は親子参加型で中野地域ケアプラザでセルフ杜のパン部門の方達を講師に昼食用のパンを作った。同時にサンドする具材の調理も自分達で行った。パンが焼けるまで簡単なゲームをして交流を深めた。会終了後はセルフ杜の各部門の見学を行った。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里 春の文化祭	地域の方達に貸室登録団体の活動を紹介する事と、団体同士や地域の方達との交流を目的としたイベント。貸室団体だけでなく、近隣の作業所や高齢者施設が作品展示や演奏、販売コーナーなどを設けて地域に開かれた文化祭となった。	5月

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
広報誌 「野七里ケアプラザNEWS」	ケアプラザで行われる事業・情報を地域に発信。上郷東・西地区に回覧、近隣施設に配架その他地域で活動をしている方々への配布を行った。広報誌を見て事業の申込をされる方も多く、「広報よこはま」と並び貴重な情報発信源となった。	8月・11月以外の月 (年10回発行)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上郷西地区サロンボランティア交流会	<p>○目的 上郷西地区のサロンより挙げられた「参加者の減少」「担い手の減少」といった課題について、上郷西地区のサロン関係者で連携を強化しながら全体で何ができるかを考えていくことを目的とする。</p> <p>○内容 上郷西地区のサロンを運営するボランティアと上郷西地区社会福祉協議会とケアプラザで課題を共有し、連携して何ができるかを話しあった。地域の方やケアマネジャーなどへの周知のため、福祉マップの作成を行うなどの意見があがった。</p>	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の腕みがき塾	<p>○目的 高齢者の社会参加のきっかけとし、地域の担い手として活躍できる仕組みづくりを推進するとともに、高齢者自身の生きがいをづくりにつなげていくことを目的とする。</p> <p>○内容 地域の生活支援ボランティア「野七里助っ人隊」と共催で勉強会を行った。ロイヤルホームセンターに講師を依頼し、男性のボランティアのきっかけになるような住まいの修繕の講座を行った。直接、ボランティアにはつながらなかったが、現役世代の参加者より「勉強会に参加しながら将来はボランティアを行ってきたい」との意見があった。</p>	2月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区ちょこっとボランティア連絡会	<p>○目的 栄区的生活支援ボランティアの団体が課題や情報を共有すると共に、ボランティア活動の発表の場とし、今後の活動の推進につなげることを目的とする。また、栄区内の生活支援コーディネーターで全体の課題を把握し課題解決に向けて検討する。</p> <p>○内容 栄区6館のケアプラザと栄区社会福祉協議会と共催で、栄区で活動している生活支援のボランティアの活動者に対して今後の活動に役立つ研修会と情報交換会を行った。</p>	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
できることから始めるボランティア講座	<p>○目的 ちょっとした外出がひとりでは不安な方、介護保険では対応が難しい方の通院の付き添いなどを、地域の中で助け合っていけるようなボランティアを発掘、育成することを目的とする。</p> <p>○内容 ①高齢者、認知症の方の対応について・ボランティアについて②ボランティアで使える介護技術の基本・経験をふまえたボランティアの話を行った。この講座をきっかけに、ボランティアグループの立ち上げにつながった。</p>	10月・2回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サードエイジラボ	<p>○目的 上郷西地区のサロンより挙げられた「参加者の減少」「担い手の減少」といった課題について、上郷西地区のサロン関係者で連携を強化しながら全体で何ができるかを考えていくことを目的とする。</p> <p>○内容 上郷西地区のサロンを運営するボランティアと上郷西地区社会福祉協議会とケアプラザで課題を共有し、連携して何ができるかを話しあった。地域の方やケアマネジャーなどへの周知のため、福祉マップの作成を行うなどの意見があがった。</p>	6月7月・3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>目的：主に認知症の方を介護しているご家族を対象に、グループワークや話し合いを行う。介護者の精神的な負担の軽減を目的とした介護者同士の情報交換や話し合いの場。</p> <p>内容：認知症の人と家族の会に講師を依頼し、家族同士で意見交換を行ったり、それぞれの悩みについて助言しあえる場を提供する。</p>	<p>6/23, 10/27, 2/23</p> <p>計3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里終活講座	<p>目的：「SAKAEシニアライフノート」を地域住民に周知すると共に、ノートに記入する項目それぞれについて詳しく学ぶ機会を提供し、「終活」を考える一助とする。</p> <p>内容：「エンディングノートの書き方講座」「医療講座・終末期をどう迎えるか」「いざという時に慌てない葬儀とお墓のお話」「介護施設の選び方」「遺言の書き方と相続の話」の5回講座。企業や医師等に講師を依頼。</p>	<p>6/15, 6/29, 7/5, 9/13, 9/27</p> <p>計5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく学ぶ成年後見制度の話	<p>目的：地域住民向けに開催する成年後見制度の講演会。翠風荘との共催事業とする。県社協発行のDVD「楽しく学ぶ成年後見制度」を上映後、行政書士による成年後見制度の講義と質疑応答を行い、成年後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内容：地域住民向けに成年後見制度の普及啓発を行うと共に、制度について相談できる身近な窓口としての地域包括支援センターの周知を行う。翠風荘にて開催することで、高齢の方を対象に制度の周知を行う。</p>	<p>3/14</p> <p>計1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士による出張相談所	<p>目的：身近な法律の専門家が成年後見制度や遺言の書き方相続手続き等の相談に応じる権利擁護目的の個別相談。</p> <p>内容：地域の行政書士の協力のもと、毎月1回定期的に開催する。1回の相談につき30分程度を目処とし、地域包括支援センター職員と共に無料で相談に応じ、必要に応じてその後も継続的に支援していく。</p>	<p>毎月第3土曜日</p> <p>計7回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
老後の金銭管理	<p>目的：介護保険サービス事業所オプティ栄と区社協との共催。高齢者が狙われている詐欺の話、成年後見制度について、あんしんセンターの役割についての講義を開催。</p> <p>内容：詐欺の話をきっかけに、判断能力が低下した時や金銭管理が不安になった時に相談できる包括と社協の権利擁護事業について周知する。</p>	7/12 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待について 研修会	<p>目的：虐待の早期発見の為に、在宅介護サービスを行う事業者等に対して研修会を行う。</p> <p>内容：栄区包括社会福祉士の6館共催事業として、区職員と共に、区内の在宅サービス提供事業者に対し、虐待発見のポイントや通報の仕方についての研修会を開催する。</p>	7/14, 9/14 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症の 本人と家族の会 「笑風の会」	<p>目的：65歳以下で認知症を発症した本人と家族を支援する。本人同士や家族同士の交流の場。</p> <p>内容：区内6館共催で年に3回実施。本人の会と家族の会に別れ、本人は買い物や調理、レクなどの活動を行い、家族は意見交換を行う。</p>	6/25, 11/26, 2/18 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター 養成講座	<p>目的：認知症についての普及啓発。</p> <p>内容：上郷東地区シニアクラブからの依頼で認知症サポーター養成講座を開催。</p>	10/30 計1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
イージー体操	<p>目的：地域の高齢者が自己の運動機能の維持向上を図る事を目的に週1回のペースで年間実施。参加者同士の交流を深める事で、閉じこもり予防にも繋げ、ケアプラザとの関わりも持つ。</p> <p>内容：運動講師の指導で、体に痛みや不自由があっても無理無く出来る体操を行えた。季節毎のイベントを企画し、参加者同士の親睦も深め、通う事の楽しみにしてもらった。</p>	<p>毎週火曜日 15：00～16：00</p> <p>計48回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3A なずなの会	<p>目的：認知症予防スリーAを実践する会。新規リーダーの発掘と新たなボランティアの育成は次年度の課題とする。</p> <p>内容：参加者がリーダーの掛け声に合わせて全員一緒にパフォーマンスを行い、あかるく、頭を使って、諦めないをモットーに難しすぎない内容で、達成感を味わってもらう事が出来ている。</p>	<p>毎月第2・4木曜日 13：00～15：00</p> <p>計24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぎゅっと詰まっちはちみつの良い話	<p>目的：普段なにげなく使っている蜂蜜の栄養価や効能、味の違い、蜜蜂がどの様にして蜜を作っているかを知る事で、その奥深さを知り自身の健康にも役立ててもらおう。</p> <p>内容：2回講座で実施。1回目は、体内に取り入れる蜂蜜をテーマに、体がどう反応するか、蜂蜜の栄養価について深く学び、味の違いを体験した。2回目は、蜂蜜を使った化粧水を作る。食用以外での利用法と効能を学んだ。</p>	<p>5/22・5/29 13：00～15：00</p> <p>計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防目的の園芸講座グループへの栄養講座	<p>目的：介護予防目的で立ち上げ、その後自主化した。会員が地域の人達に声かけし、一緒に園芸に参加してもらう事で活動の場を広げる機会とする。</p> <p>内容：季節毎にケアプラ敷地内で野菜を栽培し、収穫後に調理実習を行った。2回目からは広報で参加者を募集して広く地域に周知した。</p>	<p>6/26・8/22・11/29</p> <p>計3回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
とっておき・ 冷え対策講座	<p>目的：冷えは万病の元と言われているが、効果的な対処法は無く、辛い思いをしている人達が多い。冷えには種類があり、自分の冷えのタイプを知る事で、対処法を学ぶ機会。</p> <p>内容：4回の連続講座。冷えのメカニズム、冷えが健康に及ぼす影響、自分の冷えのタイプを知り、対処法の実践を様々体験してもらった。4回のうち1回はヨガによる対処法を体験し、講師はアロマセラピストなので、香りを使いながらの講座となった。</p>	<p>10/26・11/2・ 11/9・11/16</p> <p>計4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
メンズ厨房	<p>目的：男性限定の調理講座で、普段ケアプラザに来ない人や独居の男性に参加してもらい、趣味や興味を増やす事で、日常生活をより楽しく送るための支援とした。</p> <p>内容：女子栄養大学の講師による調理講座。上郷地区センターとの共催で会場も地区センターにて実施。事前にメニューを提示し材料も準備して3班に分けて実施した。</p>	<p>1/24</p> <p>計1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
口腔相談	<p>目的：地域の全ての住民を対象にする口腔相談で、より口腔に意識を深めてもらえる様に、相談内容は限定しない。</p> <p>内容：オリーブ歯科、クローバー歯科の医師による個別相談。1人60分程度の時間をとった話ができて好評だった。</p>	<p>毎月第1・3水曜日 12:00～14:00</p> <p>計24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
干し野菜と 時短調理講座	<p>目的：高齢者だけでなく、若い人達にも参加してもらい、交流の場としての意味付けも持つ。野菜を干す事での栄養価や味の変化、短い時間でいかに無駄の無い食材の使い方が出来るかを実践で知る。</p> <p>内容：街の先生を講師に迎え2回に分けて実施。28年度は干し野菜講座1回で行ったが、希望者が多かったので、調理方法を少し変えて2回講座で実施し好評だった。</p>	<p>2/8・2/22</p> <p>計2回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講座 癌総論	<p>目的：漠然と不安を抱えている癌について、本質を知る事で気持ちの持ちようを変え、無駄な思い込み等を無くす。</p> <p>内容：湘南鎌倉総合病院の検診担当の医師による講座で、様々な癌の実態と、検診によって発見される事の意味を聞く事が出来た。</p>	<p>11/17</p> <p>計1回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
布で作る お野菜講座	<p>目的：細かい作業だが小さい頃にはやった記憶があり、その頃の事を思い返しながら手を動かし脳の活性化も促がす。</p> <p>内容：港南区のボランティアグループに来てもらい、ほぼ1対1で指導してもらった。話題が途切れず、大変和やかで笑顔の絶えない講座になった。</p>	<p>9/19・9/20・9/22</p> <p>計3回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気に楽しく手 作り味噌を作ろ う	<p>目的：麹菌について学びながら日常生活への取り入れ方や健康についての話を聞く。</p> <p>内容：麴味噌を作っている麴店に手ほどきを受けた。半年寝かせた後、ケアプラザの調理講座に利用した。</p>	<p>4/5</p> <p>計1回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹き矢 体験	<p>目的：高齢者にも障害のある人にも無理なく行う事が出来、姿勢や呼吸を整える働きもあるとされる。気軽に参加してもらおう事が出来、仲間作りのきっかけにする。</p> <p>内容：日本スポーツ吹き矢協会員を講師に向かえ2回講座で実施し、終了後に自主化し団体登録した。</p>	<p>8/17・8/31</p> <p>計2回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のしちり 寄席	<p>目的：28年度から開始し、広く地域に定着しつつある感触を持ち今年度も継続した。閉じこもりがちな人、介護者、ケアプラザが把握していなかった人等の参加で、現況を知る機会にもする。</p> <p>内容：出前で演芸を行っている団体による、落語、マジックなどの高座。木戸銭は無料で、事前申し込みの他、当日も余裕があれば受け付けをした。</p>	<p>7/15・11/3</p> <p>計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
姿勢改善・ コグニサイズ	<p>目的：主に筋トレまでは出来ないレベルの住民を対象にした転倒予防目的の運動と、認知症予防のためのエクササイズ(コグニサイズ)。続ける事で良い変化が出る事を実感してもらおう。</p> <p>内容：運動講師による転倒予防、認知症予防、口腔運動を毎回実施。一つ一つの動きの意味を解説してもらいながら運動を行い、体の変化を実感してもらえた。会場を4箇所にして、より利用しやすくした。</p>	<p>毎月第1・3月曜日 野七里ケアプラザ</p> <p>毎月第2・4水曜日 イリーゼ 13：15～14：45</p> <p>計48回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座 自分で治すリハビリテーション “膝”	<p>目的：多くの高齢者の悩みの一つである腰痛について専門の立場からの話を聞き、腰痛は時に寝たきりや閉じこもりの原因となる事を学ぶ。</p> <p>内容：湘南鎌倉総合病院の出前講座を依頼した。腰痛の原因と予防、及び対策と日常生活を送る上でのヒントなど、実践的な話を聞く事が出来た。</p>	<p>10/24</p> <p>計1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区包括共催 新人ケアマネ ジャー研修	<p>目的：ケアマネジャーとして就労3年未満の方を対象に、医療との連携について学び、先輩ケアマネジャーの経験から、関わり等について学ぶ。また、包括支援センターが相談しやすい窓口となるよう主任ケアマネジャーの顔を知っていただく。</p> <p>内容：栄区内地域ケアプラザ包括主任ケアマネジャー6館共催事業。区内の訪問医を招いた在宅医療と連携についての講義と、グループワーク、居宅主任ケアマネジャーを講師に招き、介護保険の流れ等の説明会。医療小規模多機能施設、ホスピスの見学会を行った。</p>	<p>7/27・8/31・11/16</p> <p>計3回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
杉山孝博先生の認知症の理解と援助	目的：地域住民向けに認知症を理解して頂き認知症の人とその家族が生活しやすい地域作りのきっかけとする。 内容：栄区医師会との区民向け共催事業。川崎幸クリニック院長・杉山孝博先生を招いた認知症についての区民向け講座「認知症の理解と援助」を開催。	1/29 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里地域ケアプラザみんなで勉強会	目的：事業所の枠を越えて様々な経験年数のケアマネジャーが集い学ぶ事によって、横の連携の強化やスキルアップを図り地域に還元する。 内容：野七里エリアを担当するケアマネジャーを主に対象とし様々な事を学び情報交換も行った。5月「お作法講座」、6月「事例検討会」、8月「精神疾患を持つ人やそのご家族への対応について」9月「栄区国民年金課職員による年金のしくみについて」。	5/18・6/28・ 8/29・9/14 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員さんとの個人面談会	目的：野七里エリアを担当している民生委員の担当地域について、情報収集情報交換と包括支援センターの役割についての再確認。 内容：各エリア担当の民生委員との個別ヒアリングを1人につき30分程度行い地域資源の確認やニーズの把握、包括支援センターについての説明を行った。	9/12・9/14・ 10/4・10/13・ 11/1・11/7・11/8 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数